

文化祭におけるインフルエンザへの対応について(改)

現在全国の学校において、新型インフルエンザの感染が拡大しております。その予防と感染した場合の措置については、慎重かつ積極的に対応してまいりました。校内においては毎日の健康観察を強化する一方で、各手洗い場へのハンドソープ、校内複数個所へのアルコール消毒薬の設置をして、生徒に対しても、こまめに手洗い・うがいを行うよう指導しております。

ところが、現在、本校の中学生のうち、一部の生徒が新型インフルエンザに感染・発症し、1クラスが明日より学級閉鎖となります。現在、該当の生徒に対しましては出席停止の措置をとり、自宅において健康管理をおこなってもらっています。また学級閉鎖のクラスの生徒に関しましては、保護者と連絡を取り合いながら、健康状態の把握をしてまいります。またさらなる感染を予防するために、体調不良者にはすぐに対応ができるよう学校を挙げて取り組んでいます。現段階においては、広島県通達の基準に基づいた対応をしており、発症者の生徒と学級閉鎖の対象クラスの以外の生徒は平常通りに登校し、授業を受けます。

さて、以上のような状況の中で、来る9月13日(日)には「近福祭(=文化祭)」が予定されております。すでに申しあげました通り、広島県の基準に照らして、本校における教育活動は、学級閉鎖の1クラスを除いて、継続可能と判断しております。よって文化祭につきましても、校内での検討の結果、現在、実施の方向で準備を続けています。

しかしながら本校としましては、校外よりお客様をお迎えするにあたって慎重に対応させていただきたいと考えております。具体的には、出入り口をはじめとした校内各所に消毒剤を設置し、またご希望の方にはマスクを配付させていただくことで、少しでも皆様に安心して来校していただけるよう配慮いたします。

皆様には、こうした本校の現状と姿勢をご理解の上、ご参加頂きますよう、お願いいたします。なお、本校のマスクの備蓄には限りがございます。できうる限り、皆様個人でマスクをご準備いただければ幸いです。